

Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長
ロン D. パートン



ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

静岡東ロータリークラブ

会長／高柳正雄 幹事／高田雅司

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30～13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高柳正雄



第 2669 回例会

平成 26 年 5 月 29 日 天候 晴

- 《司 会》 高田雅司 君
- 《合 唱》 「手に手繋いで」
「静岡東ロータリー」
- 《BGM》 「ゴースト～ニューヨークの幻」
- 《来 賓》 ㈱ラプト代表取締役社長 山田康彦氏
- 《ビジター》 里見和洋君 (静岡RC)
野村玲三君 (伊東西RC)

《本日のお祝い》

お誕生日
該当者なし

結婚記念日
該当者なし

《会長挨拶要旨》

来る6月1日から4日までシドニーで RI の国際大会が開催されます。RI 国際大会は、宗教も民族も違ういろいろな国の人たちが集まりますが、全員が共有するロータリーの目的の下に毎



回有益な議論が展開されています。

しかし世界を見渡すと、目的は共有しても利害関係が錯綜してなかなか建設的な議論に至らない集まりが数多くあります。言葉と文化について思うことを話してみます。

しばらく前に読んだ本に「遊牧民から見た世界史」というのがあります。これは西洋の視点でもなく、中華の視点でもなく、遊牧民の視点から世界史がどう見えるかというもので、いろいろと気づかされることがあります。

その中に、本題を少し外した部分ですが、こんな一節があります。アラビア語・ペルシア語には「国家」を意味する言葉がない。その言葉がないということは人々に「国家」という概念を芽生えにくくさせる。それが多くのイスラム諸国で宗教と政治が分かち難く結

びついている要因ではないか…、と。

鋭いところを突いていると感じます。世界には様々なすれ違いがあり、欧米世界とイスラム世界のすれ違いばかりがそのすべてではありませんが、文明の衝突が言われて久しいのに向に改善の兆しが見えないのは、こうした奥深いところの問題かもしれません。言葉が形作る世界は我々が想像する以上に大きく頑迷なのかもしれません。

しかし歴史は人間に解決への知恵も示しています。先日モントリオールで仕事をした時の話をしましたが今は美しく穏やかな国カナダも、その独立を巡っては英語系と仏語系の間で激しい戦火を交えました。しかし最終的には、英語でも仏語でもない、原住民の言葉に由来する「カナダ」と「オタワ」を国名と首都名にして、今の繁栄に繋がりました。原住民の言葉でカナダは村落を、オタワは商人を意味します。オタワはそのとき人口2万人の小さな町でした。今は百万人を超す大都市です。

言葉と文化は、それ自体は民族にとっても、また世界にとっても大きな財産ですが、時には民族同士の激しい対立の要因になります。中東や中央アジアに「国家」を意味する新しい言葉が生まれることを期待するのは難しいかもしれません。しかし我々が学生時代に英語を学んだとき、それは言葉を学ぶという以上にその言葉を話す人たちの文化を感じる一つの体験でした。そんな地道な積み重ねが文明間の建設的な議論に発展することを願います。

《来賓卓話》

「最近のアクアリウム事情について」

株式会社ラプト代表取締役社長 山田康彦氏



アクアリウム事業といっても元々ペットショップをやっていたわけではなく、通信販売をさせていただいています。元々はCIやロゴ製作の仕事をしておりまし

て、事業的には観賞用サンゴの販売、イベント企画をやっています。

アクアリウムというのはこの10年くらいのもので、ピクサーのファインディングニモという映画でカクレミノが有名になり、国内でもブレイクしました。

国内では当然採取禁止のものですが、インドネシア政府と「附帯書Ⅱ」という、ワシントン条約の中で政府と取り決めをした枠の中で輸入をしています。

沖縄などでサンゴを採ろうとすると逮捕なんですけどインドネシアでは2~3万円する物を小学生がサッカーボールくらいに蹴っとばしている、という状況です。価値感の違いがものすごくあります。ビジネス的には現地の人にジャバングオリティを教えるのに苦労する、という話を聞いていたのですが、本当に大変でして、1回教えても次に行く度にもう戻っているという状況です。

最近のアクアリウムの世界は、時代が全然変わってしまっていて、インスタントコーヒーを溶かすくらい簡単に海水が出来てしまいます。浄水器も昔は水槽に引っ掛けるタイプでしたが、今はフィルターで汚れを取るタイプではありません。フィルターを使うと硝酸塩という物質が出てきてしまい、サンゴやイソギンチャクが飼えなくなります。そこでドイツ人が泡の表面張力で汚れをとる方法を考えました。これをベルリンシステムといいます。彼らは海岸線が少なく海水や普通の水道水も貴重な所ですからこういうシステムを考えましたのです。

温暖化で沖縄のサンゴがものすごく減っています。海水の暖かい赤道前後の部分が上がってきてしまい熱帯で取れる石サンゴというものが和歌山あたりで普通に取れるようになっていきます。沖縄で見られたキラキラした熱帯魚が、最近では伊豆の海域で一杯みられるようになってます。沖縄では白化現象がおきています。次にオニヒトデ。昔はダイバーが散々採ったのですが、採ればとるほど逆に大量発生するシステムがあることがわかり、現在採るのをストップしています。それから密漁、これは追いかけてこです。中国にはお金を出す金持ちが一杯いるそうで、ここからここまで全部、という持っていきかたをする。「これ持ってかえって売れるの？」と聞くと、「たぶん日本の10倍の値で売れるね」という。これは大変になってくるなど感じます。あとはダイバーによる破壊、慶良間諸島という所は沢山人が入りすぎて破壊されているという現実があります。

新産業開発機構の駿河湾地域事業化プロジェクト静岡市内の財産を利用して、何か産業を産めないかという事をやっています。こちらでは東海大学さんと協同で、陸上でタツノオトシゴの養殖しています。これはワシントン条約に入っておらず、薬膳料理とか漢方薬になるものなので、年中温度が安定している清水の三保の地下海水をくみ上げて、タツノオトシゴの養殖に取り組んでいるのですが、東海大学の敷地の中にコンテナを使って本当に陸上養殖です。海の物の陸上養殖を行うということです。現実的に沢山できたんですが、単価の問題、市場の問題といった事からなかなか難しいです。

タツノオトシゴの市場は一度香港に集まるそうです。国内でほとんど食べられていません。浜松のホテルで一度協力して貰ったのですがなかなか人気がない。世界では需要がありますが日本で作って乾燥させて輸出するのは事業化が無塚しいということで、アワビ等にシフトしながらやっています。

癒しの効果というのが最近言われています。水槽をおきますと、海水独特の光の屈折というのがおき、上から直線的な光を入れると中で揺らぎます。海に潜って上を見た事のある方はわかるんですが、水がキラキラします。海水の独特の揺らぎというもので、1/fのゆらぎと殆ど変わらない周波をもっており、介護福祉施設などで癒しの空間を演出するのに向いているんじゃないかと言われています。

照明も以前は大きな電力を必要としていましたが、LEDライトが出てきて、非常に効率良く電気を減らすことが出来ました。

また皆さんの会社等でも癒しの空間とか、休憩所の演出とか、ほかにもウォーターカーテンを使った演出もやっていますので、最近会社の空気が重いな、と思っ

《スマイル報告》

川口尚宜 君 結婚記念日のお花ありがとうございました。結婚満10年です。毎年今年が一番幸せと思うようにしています。来年は、もっと幸せになっているようお願いスマイルいたします。

串山正幸 君 先週、秋篠宮殿下に25時間当ホテルにご滞在いただきました。お喜びいただき大変名誉なことでした。これに感謝しスマイルします。

柴田啓之助君 5月24日無事お食いぞめがおおりました。だれに似たのか良くしゃべります。月一スマイルに協力して。

富井一矢 君 ゴルフを始めて2年ちょっと…ようやく100を切ることができました。とてもうれしいのでスマイルいたします。

丹羽 亨 君 今年は15年ぶりに屋上でビアガーデンを開催させていただきます。市内の夜を盛り上げます。

宮川 沓 君 先週の卓話、中井弘和先生(いのちの電話代表)の際、会員の皆さん方から特別寄付をいただきました。有難うございました。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
5/29	52(51)	40	11	-	-	-
5/22	52(50)	38	12	-	-	-
5/15	52(50)	36	14	8	6	88.0%